

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(3月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『藤井聡太ものがたり』

藤井聡太(おはなし) / 山本省三 文 / 山田花菜 絵 /
監修 公益財団法人日本将棋連盟 / 世界文化社(特集)
対象: 幼児から高齢者まで



内容のご紹介

3月に入りました。全国的にまだ、寒さも残り日本海側の大雪では、生活に支障が出ています。

2月22日の矢祭町民号では、梅の花は早いものの、町民の親睦は、深めたと思います。ありがとうございました。

今月ご紹介する絵本は、“藤井聡太ものがたり”です。

関西地方では、将棋の文化を大切にしています。特に大阪は、強い熱を感じます。

聡太君もこのような環境の中で、将棋と出会い成長して行きます。本人は、“ぼくは、負けずきらいなので”と言っています。

彼を見ると意思の強さと努力を惜しまない人です。また、聡太君は、“夢中になれるものを見つけてください。”とも言います。自分の得意なものを見つけることも大変なことです。家族の役割や本との出会い、人との出会いを大切にしてください。

藤井聡太さんが語った、初めての絵本！将棋とともに歩んだ5歳からの道のりは、・将棋との出会い 5歳からの歩み ・子ども大会での出来事、師匠・杉本昌隆さんとの出会い、奨励会での日々 ・棋士としての道のり ・おしえて! 藤井聡太さんのひみつ ・藤井聡太さんアルバムから、将棋棋士・藤井聡太さんの歩みを、絵本を通じて子どもたちへと届けます。幼少期に将棋というひとつの道へと踏み出していきっかけから、棋士となり、29連勝、最年少タイトル獲得、史上初の八冠達成など……。数々の達成する中での思いや、それぞれの瞬間のきらめきを、藤井聡太さんのお話を元に、色彩豊かな絵とともにお伝えします。さらに、インタビューや、ヒストリーを紹介する読み物ページなど、もりだくさんの内容です。売り上げの一部を社会貢献事業に寄付いたします。

(紹介文:世界文化社/矢祭もったいない図書館)